



西山小学校  
卒業式  
(14ページ参照)



# 西川町 議会だより

2010.4.15

72

・ 3 月 定 例 会	2~3
・ 予算特別委員会での質疑応答	4~5
・ 平成22年度新規事業	6
・ 一 般 質 問	7~10
・ 議会のうごき	11~13
・ 「究める・人」シリーズ	14

No.12 木の美細工、絵はがき

発行 山形県西川町議会

# 平成22年度予算

## 一般会計、特別会計、病院・水道事業会計

# 夢と希望を持って住み続けられるまちづくりに80億円

## 一般会計は2年連続で50億円超

3月3日から11日までの9日間、平成22年第1回定例会を開き、平成22年度の一般会計、10の特別会計、病院および水道事業会計の予算を原案のとおり可決したほか、議員が提出した議員報酬を削減する条例案を全員賛成で原案のとおり可決しました。

町長が提出した固定資産評価審査委員会委員の人事案は賛成多数で同意し、町道路線認定の議案は賛成多数（賛成6人、反対3人）で原案のとおり可決しました。また、道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案など、条例案3議案を全員賛成で原案のとおり可決、さらに、2億1739万円を追加し、総額を58億2617万円とする一般会計補正予算案は賛成多数（賛成6人、反対3人）で、国民健康保険など5特別会計並びに病院および水道事業会計の補正予算案は全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決しました。定例会ではこのほか、国民保護計画の変更の報告がありました。

一般質問では、4人の議員が町の政治・行政について町長の施政方針をただしました。

定例会の最後に、4月19日で勇退する近松捷一町長に送別の言葉を送り、町長からお礼のあいさつがありました。

### 一般会計、特別会計予算状況

会 計		予 算 額	対前年度		採決の結果	
			増減額	増減率		
一 般 会 計		50億3000万円	△2億4000万円	△ 4.6%	賛成7人 反対2人	
特 別 会 計	国民健康保険	事業勘定	6億6338 〃	4489 〃	7.3 〃	全員賛成
		施設勘定 (大井沢歯科診療所)	374 〃	△10 〃	△ 2.5 〃	
	老人保健	60 〃	△153 〃	△71.9 〃	全員賛成	
	簡易水道	2689 〃	△519 〃	△16.2 〃	全員賛成	
	路線バス事業	5523 〃	29 〃	0.5 〃	全員賛成	
	公共下水道事業	2億2881 〃	△1億6194 〃	△41.4 〃	全員賛成	
	農業集落排水事業	2933 〃	124 〃	4.4 〃	全員賛成	
	寒河江ダム周辺施設管理事業	380 〃	0 〃	—	全員賛成	
	後期高齢者医療	8015 〃	530 〃	7.1 〃	賛成8人 反対1人	
	介護保険	5億9906 〃	△4703 〃	△ 7.3 〃	全員賛成	
宅地造成事業	436 〃	0 〃	—	全員賛成		
合 計		67億2535 〃	△4億 407 〃	△ 5.7 〃		

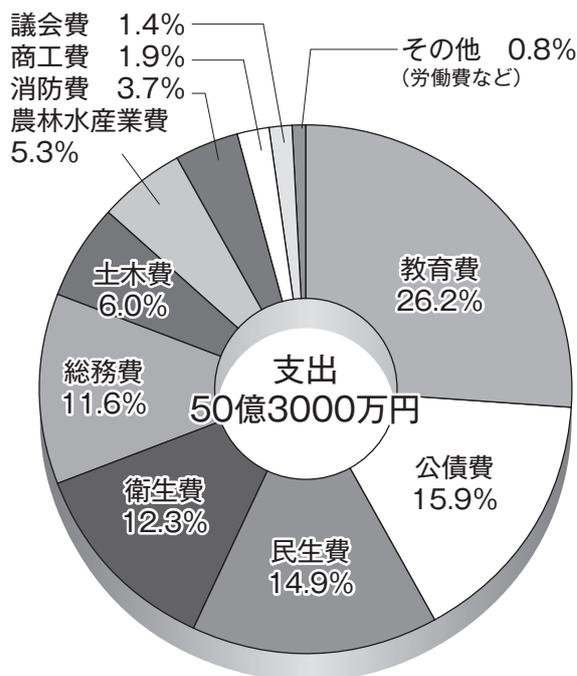
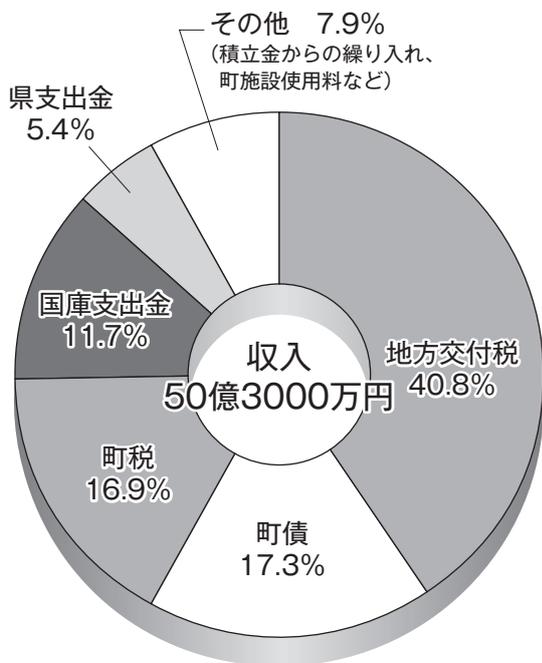
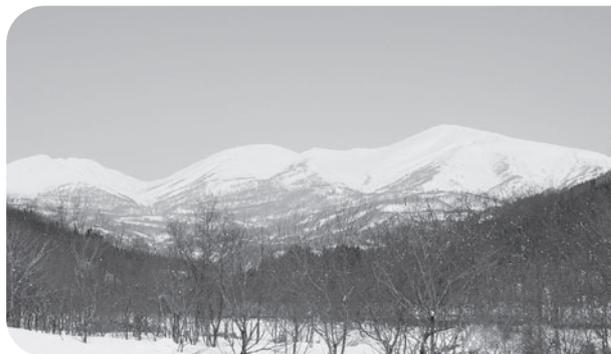
※金額は、すべて万円未満を四捨五入して表示しています。

### 病院・水道事業会計収益的収入および支出予算状況

会 計			予 算 額	対前年度		採決の結果
				増減額	増減率	
病院事業会計	収益的	収入	7億7768万円	1098万円	1.4%	全員賛成
		支出	7億7768 〃	1098 〃	1.4 〃	
	資本的	収入	563 〃	63 〃	12.6 〃	
		支出	5647 〃	△341 〃	△5.7 〃	
水道事業会計	収益的	収入	1億2196 〃	△285 〃	△2.3 〃	全員賛成
		支出	1億2196 〃	△285 〃	△2.3 〃	
	資本的	収入	2億6064 〃	1億8706 〃	254.2 〃	
		支出	3億1959 〃	1億9711 〃	160.9 〃	

※金額は、すべて万円未満を四捨五入して表示しています。

# 一般会計予算構成比



## 議会 送別のことば

一つには、将来を見据え町内一校の統合小学校、西川小学校の建設を進められたこと。二つには、人口集積地の形成をはかるため着実に推進されたこと。三つには、志津地区の地すべり対策の推進を粘り強く国へ働きかけ、異例の速さで国直轄により新規着手されたこと。四つには、雪国の快適な住まいづくり交付金事業などの克雪対策事業を推進されたこと。五つには、第三子への出産祝金など子育て支援に積極的に取り組まれたこと。そのほか、行政改革の推進や総合産業化の推進など多くの足跡を残してこられました。深甚なる敬意と感謝を表します。今後とも本町の行く末を見守っていただき、限らない発展にご指導賜りますようお願いいたします。益々のご健勝とご多幸をお祈りし、ご労苦を讃えます。

## 近松町政 2期8年の足跡を振り返って

### 近松町長 お礼のあいさつ

大変長かったような、あっという間に過ぎ去ったような、いまは妙な気持ちです。町民の立場に立って町民の幸せという視点で戸惑い、不安、迷いもありましたが、全力で一一つのことに当たってきたつもりです。任期をまっとうできるのも議員の皆様のご指導、ご協力、ご理解、そして温かい支えがあったからこそで、いまはただ感謝の念でいっぱい입니다。

大変厳しい時代ですが、議員の皆様のご力を結集して、新町長のもと、協働のまちづくりをめざせば、必ず道は開けると確信しています。

町の益々の輝かしい未来を信じ、町民、議員の皆様のご健勝、ご多幸、ご活躍をご祈念します。

# 質疑応答



予算特別委員会  
委員長 佐藤 征男



## 一般会計

### 総務企画課担当事務事業

**Q** 雪国の快適な住まいづくり奨励金の補助対象額を引き下げ件数を増やしては。  
**A** 屋根の改修に限らず、通路などの融雪設備に対する補助も検討します。

**Q** 町内の業者が施工した住宅のリフォームに対する補助制度を創設しては。  
**A** 経済対策で実施している市町村がありますが、意見として聞いておきます。

**Q** 水の文化館の川雑魚水族館の改設計画内容は。  
**A** 川雑魚の種類や資料を充実するとともに、ダムをテーマにした資料も展示しながら、みちのくダム湖サミット(平成22年11月開催)までに整備する予定です。

**Q** 水沢および大井沢温泉館、水の文化館などの維持管理費用として、約6千万円を委託先の西川町総合開発(株)に支払い予定ですが、同社の赤字補填では。

**A** 本来は町が運営すべきもので、町の施設としての維持管理費用であり、赤字補填ではありません。

**Q** 温泉館や町民スキー場、仁田山放牧場などの公共施設の見直しの検討状況は。  
**A** 施設利用の現状や今後の費用の見直しなどをもとに、さらに町民に親しまれ喜ばれるような施設のあり方を検討していきます。

**Q** 第10回山形ふるさとCM大賞で大賞に次ぐ優秀賞を受賞しましたが、CM制作に要した費用は。  
**A** 若手職員の手作りで、約3万円で作りました。

**Q** 町報の印刷代がデフレで安くなっているのですが。  
**A** 発注に際しては見積もり合わせを行っています。質を下げることのないように、ページ数が減ることのないように気を付けています。

### 町民税務課担当事務事業

**Q** 税金などを滞納している方

を訪問する際は、プライバシー対策に配慮を。  
**A** 公平公正な納税が大原則で、国民としての義務が優先すると考えており、接触の機会を確保することに重点をおいています。

**Q** 本町のゴミの排出量は。  
**A** 平成18年(1405t)をピークに減少しており、平成21年は家庭系と事業系を合わせて1277tでした。

**Q** 子ども医療費の無料化の検討経過は。  
**A** 現在、乳幼児の通院および入院、小学生の入院の医療費を助成していますが、拡充の方向で検討しています。また、市町村間で競い合うことがないように県に話しています。

**Q** 衛生組合の所期の目的が果たされているのでは。  
また、小規模な町内会では衛生組合長の人選が困難で、町内会長との兼務や衛生組合の統廃合が必要なのは。  
**A** ゴミの分別の指導、不法投棄の監視、健診のとりまとめ、衛生思想の普及向上などに務めていただいております、ほぼ所期の

目的を果たしていると考えています。  
2か所で町内会長が衛生組合長を兼務していますが、統廃合等は地域で十分に検討すべきと考えています。

**Q** 火災警報器の設置率が低く、平成23年5月の設置期限に向けて設置促進をはかるべきでは。  
**A** 共同購入などを検討していきます。

### 健康福祉課担当事務事業

**Q** 結婚を支援するために、インターネットの活用や、結婚された方および仲人の方に祝金を支給するなどの取り組みが必要なのは。  
**A** 結婚支援はむずかしいところもありますが、検討していきます。

### 産業振興課担当事務事業

**Q** 体験観光が重視されているなかで、仁田山放牧場のかかわり方は。  
また、地域の方との交流が観光の主流になりつつあるなかで、町民の接客が大切なのは。

# 予 算 特 別 委 員 会

**Q** 小中学生などを対象にした教育旅行での畜産農業体験を検討しています。

**A** 吉川県知事が岩根沢の社務所を訪れたときの接客に感心された話を聞きましたが、今後、生涯学習のなかでの接客の事業展開を検討していきます。

**Q** 総合産業化の具現化のために最新情報を入手し取り組むべきでは。

**A** 加工も含めて具体的なものを示して取り組んでいきます。

**Q** 農業の戸別所得補償と価格補償を一体として実施することで後継者対策になるのでは。

**A** 力を入れていくべき農産物については実施すべきと考えています。

**Q** 月山の木歩道を補修すべきでは。

**A** 月山朝日観光協会で材料を準備し、作業はボランティアで補修しています。

## 建設水道課担当事務事業

**Q** 町が維持管理の一部を助成して、地元で管理している林道

の延長が延びて荒れている箇所が見受けられるので、補助率を3分の1から2分の1に引き上げる必要があるのでは。

**A** 予算が有効に使われるように検討していきます。

## 教育文化課担当事務事業

**Q** 町民体育館の窓枠や町民スキー場の屋根の損傷が著しく、修繕すべきでは。

**A** 概算工事業費は見積もっており、国の補助事業などを注視しながら早く修繕できるように努めていきます。

**Q** 小作料が下がっているなかで、町民スキー場の借地料を見直すべきでは。

**A** 平成17年度に見直していますが、今後、検討していきます。

**Q** 教育委員長が不在ですが、職務代理者が代行しており、平成22年度に人選します。

**Q** 教育委員会の活動が見えないのでは。

**A** 平成22年9月までに点検、評価の報告を予定しています。

**Q** 近隣の市町村では婦人会組織が解体されていると聞いていますが、本町では存続していたるべきでは。

**A** 婦人会では、人と人のつながりを大切にして、地域の課題を解決しながら地域づくりに努めています。また町では、負担を軽減するために町がかかわっている業務を調査しています。

**Q** 児童生徒の学力テストおよび知能検査の対象学年、目的は。

**A** 学力テストは、前年度の学習定着度合の把握と授業に活かすために、小学2年生から中学3年生を対象に、また、知能検査は、小学2、4、6年生および中学1年生を対象に、それぞれ継続して行っています。

## 路線バス事業 特別会計

**Q** 一般会計から約5千万円を繰り入れているなど、経営内容を町民に説明し、合わせて経営のあり方を考えるべきでは。

**A** 一般会計から繰り入れている分を、地方交付税で措置され

ているので、約1千万円が一般財源です。今後、機会を捉えて説明していくことも必要と考えています。

## 後期高齢者 医療特別会計

**Q** 平成24年度で廃止されるのですか。

**A** 国の動きはそうですが、関係法案が国会に提出されていませんので、確かなことは言えません。

## 介護保険特別 会計

**Q** 居宅および施設サービス給付費が減少していますが。

**A** 介護予防事業の効果が表れていると考えています。

**Q** 十分な介護サービスを受けられないのでは。

**A** 自宅待機者は4、5人で、申請された方には何らかの措置をしています。

# 平成22年度 おもな新規事業

ほかに、新規事業は新町長が6月補正予算で対応することになります。

◆電波遮へい対策事業費等補助事業 3051万円  
テレビの地上デジタル放送への完全移行(平成23年7月24日)を控え、難視聴地域の対策を行います。

◆子ども手当支給費 7804万円  
中学3年生までの子どもを養育しているすべての方に、子ども1人あたり月額1万3千円を支給します。

◆町民体育館等照明省エネ事業 200万円  
町民体育館と西川交流センターあいべ駐車場の照明器具を省エネ器具と交換します。

◆防火水槽新設工事 1440万円

吉川および月山沢に新設します。

◆無蓋貯水槽の有蓋化事業 450万円  
岩根沢および吉川の2か所の無蓋貯水槽に蓋を設置します。

◆一般コミュニティ助成事業 230万円  
水沢区の伝統芸能(獅子頭等)の復活、継承の取り組みに、宝くじ受託事業収入で助成します。

◆公民館等施設整備事業 106万円

西宝沢集会所(下水道接続工事)、清水原研修センター(屋根修繕、浄化槽接続)の施設整備に助成します。



## 第1回 3月定例会 決まった おもなこと

### 人事

◆固定資産評価審査委員会委員 白田満穂さん

任期(3年)満了に伴う固定資産評価審査委員会委員に、白田満穂さん(吉川)が再任されました。  
同委員会は、固定資産の課税台帳に登録された事項に異議申し立てがあったときに審査します。

### 町道路線認定

◆4路線を認定

次の4路線を新たに認定しました。

☆坂の上線(吉川、サトウ商事) 吉川第4町内会公会堂の現在の農道)

☆西川月山局線(水沢、高齢者コミュニティセンター前)

☆月山沢八幡坂線(月山沢、寒河江ダムドライブイン脇)

☆西川小学校線(海味、フレッシュユマートシブヤ)西川小学校)

### 条例

◆議会議員の議員報酬を削減

平成22年度、次のとおり月額報酬を削減することを決定しました。(削減額は昨年度と同額)

議長 1万円  
副議長 8千円  
議員 7千円

◆道路占用料、行政財産使用料引き下げ

町道や役場等の公共敷地に電柱を立てるなどしたときの借地料が、平均25.2%引き下げられました。

### 補正予算

◆町道3、林道1の路線を整備

次の4路線の改良、側溝整備が行われます。

☆阿弥陀線(吉川)改良 1130万円

☆西川小学校線(海味)改良 7700万円

☆向山線(海味)側溝整備 500万円

☆七夕畑征矢形線(小山)改良 2593万円

### 国民保護計画変更の報告

国民保護計画は、武力攻撃やテロに対する全体計画で全国の市町村が作っています。本町でも平成19年2月に作りました。今回は、名称の変更、関連する法律等の変更によるもので、基本的内容に変更はありません。

## これからは町民との 直接対話が必要なのでは

町長…政策や事業は、町民座談会を開催し、積極的な施策を推進します



池上 博 議員



にしかわ保育園卒園式

町民と行政との協働による自立に向けたまちづくりを選択しました。本町を取り巻く諸情勢は一段と厳しくなっています。町民の期待は益々高まりつつあり、第5次総合計画の推進と情勢に応じた施策を展開していかなければならないと強く感じています。

就職難が連日のようにマスコミで報道されていますが、本町の学生等の就職状況は、

西村山管内の高校では100%近い内定率ですが、全体的には低く、専門学校へ進み、資格取得後に就職活動を行うケースも多いようです。また、地元志

向も強くなってきたり、学校とハローワークとの連携を密にして対応していきます。

町内の商店の閉店が相次いでいると聞いていますが、法人税等の税収の収入不足は、

また、厳しい財政状況を直接町民に説明し、合意をはかることが不可欠と考えますが、

法人税収納済額は1月末現在で前年同期比1300万円の減少となっています。

また、予算、決算などを町報や「わかりやすい予算書」で町民にお知らせしており、今後説明に努めていきます。

これからの地方自治体は、住民に情報を公開し、本音で話し合い、合意を探り合う過程が地域主権や協働のまちづくりにつながっていくと考えます。これまでの本町の行財政運営を検証する必要がある

ると考えますが、  
また、多くの町民は、これまでの行財政運営に不満があると考えますが。

政策や事業は、町民座談会を開催し、第5次総合計画の中期計画を実施しており、財政運営は財政計画、また行政運営は集中改革プランを策定し、計画や予算等は議会に提案して審議いただきます。今後も社会情勢の変化に対応した積極的な施策の推進をはかっていきます。



## 自立を選択したことへの展望は

### 町長…本町の将来性を確信し、自立の道を選択しました



産業振興協議会



松田昌一 議員

近松町長の2期8年の在任中最大の決断は、市町村合併をしないで自立を選択したことであると考えますが、その考えに変わりありませんか。

また、自立していくための財政運営と資金管理運用は、

本町の将来性、発展性を確信して自立の道を選択しました。厳しい社会情勢下ですが、協働によるまちづくりを着実に、かつ積極的に推進すべきです。また、財政運営は、「入るを量りて出を制す」

を基本に持続可能な健全財政に努めていきます。

定住人口維持確保のための拠点地づくりの効果は、

また、農業振興のために1億円を超える単品作物の育成ができませんか。

拠点地は、町民が町内にとどまれるよう、町外の方

も住んでいただけると期待し、同時に、総合産業化による産業振興など積極的な若者対策を推進すべきと考えています。

また、作物では品目ごとに目標数値を設定し農家の指導等を行っていきます。

教育費の問題がマスクミで報道されますが、本町の児童生徒の学習塾の利用状況は、

また、高校進学率は、

学習塾は、小学校では46人(15.7%)、中学校では9人(5.3%)、そのほかに習字やピアノ、日本舞踊、ダンス、バレエなどに小学校では95人(32.5%)、中学校では40人(23.6%)です。

高校進学率は、昨年度は全員進学で100%です。

民間が経営しているスイミングクラブなどの体育系クラブへの児童生徒の入会状況は、

また、町内のスポーツ少年団の入団および活動状況は、



バレーボールスポーツ少年団

スイミングスクール等の入会者は、小学生59人(20.2%)です。

また、スポーツ少年団の入団状況は、スキー、バレエ、野球、剣道、バトミントン、卓球の6種目で、小中学生合わせて131人(28.4%)です。ジュニアランナーズにも21人います。

## 町民意識調査の町民の率直な気持ちをどう捉えますか

町長…長引く不況などにより、行政への期待がより高まっています



渡邊 久一郎 議員



睦合区民雪上運動会

平成21年9月に実施された町民意識調査結果について、町民の率直な気持ちをどう捉えますか。

協働のまちづくりによる第5次総合計画を策定し、各分野の政策に取り組んでまいりましたが、経済の長引く不況、雇用情勢の悪化など自治体の問題だけでなく、社会全体のいまの情勢が大きく町民意識に反映されており、行政への期待も大きいと感じています。

町民意識調査の次の結果は。  
①住宅の移転や新築地は。②西川せらぎ団地の南側に住宅団地を造成した場合の購入希望は。③明るい活気ある町と思えますか。④日常の買い物や生活の利便さは。⑤今後、もっと住みやすい町にするために必要なものは。

①移転や新築を考えている方205人のうち87人が町外です。

②住宅団地の購入希望者は14人です。③「明るい・活気ある」という印象が低下しています。④「買い物や生活の利便さ」は悪くなったと感じている方が増加しています。⑤住みやすい町に必要なものは就労の確保、若者の定住対策、雪対策などです。

定住人口維持確保のために町民意識に配慮し、雇用促進住宅睦合宿舎を購入すべくは。

これまで平成20年12月定例会で譲渡および運営内容について、さらに平成20年12月の臨時会で譲渡にかんする町の方針として3つのポイントを示し、また、平成21年6月定例会でも同様の譲渡を受けたい旨を説明しています。

定住するためには、経済的な裏づけとなる職場が必要不可欠

と考えますが、その対策は。

一方では町民の積極的な姿勢、意欲が大切であり、この町に住むことに自身と誇りを持つていただく、そのための協働と理解してまいります。第5次総合計画にもとづき産業振興など各分野にわたる施策の実施と通勤環境の充実、雇用対策など国や県と一体的な推進が必要です。



雇用促進住宅睦合宿舎

## 協働のまちづくりは 町民と町が等しく情報の共有を

町長…情報は共に理解し合い、町政の推進をはかります



渋谷 雄三郎 議員

### 町の将来展望は

近松町長は2期8年間町政執行に努められてきましたが、これからの町の将来展望は、

協働により豊かな資源を活かすことが町発展の最大の要因です。情報通信の活用、地域づくり型観光や広域連携など交流、滞在人口の拡大、これと農林業、製造業などの総合産業化が期待され、本町の将来は、夢と希望の持てるものと確信しています。

### 推進による所得向上と就業の場の確保の成果は、

さらに、平成22年度予算にどう反映していますか。

宅地造成は、財源の社会資本整備総合交付金の詳細が未定のためでもあります。定住人口は、西川せせらぎ団地、IJUターナー者対策などにより一定の効果はあったと理解しています。

また、総合産業化は、長期的な取り組みが必要です。予算は、一部計上していますが、今後の具体的な方策、目標、推進体制が必要です。

### 情報の共有を

平成21年9月、町民意識調査を実施されましたが、その他の意見698件を含め全面公開すべきと考えますが。

調査結果は、3月の町報でお知らせし、概要版を全戸配付、また町のホームページに詳細な資料を掲載し、必要な方にはそ



西川せせらぎ団地

の資料を差し上げています。そのほかの意見はすべて読ませていただきましたが、公開しなくとも調査結果は十分町民にご理解いただけると考えています。

### 雇用促進住宅睦合宿舍の購入を

定住人口の維持確保のために購入すべきと考えますが、購入しない考えは変わりませぬか。

現在のところは、若者向けの住宅団地や公営住宅で対応していきたいと考えています。



月山山菜市場

### 第5次総合計画は 着実に進んでいるか

中心的施策の定住人口の維持確保対策の一つに人口集積・拠点地整備事業を掲げていますが、宅地造成事業が平成22年度当初予算に組み込まれていないのはなぜか。さらに、これまで進めてきた施策で定住人口の維持確保ははかられてきましたか。また、総合産業化

# 議会のうごき



## 常任委員会

### 産業建設常任委員会

1月26日

### ◆農業政策調査

農業政策について、さがえ西村山農業協同組合西川支所および産業振興課から説明を受けました。

支所長からは「平成21年度の本支所の販売額は3億2500万円を見込んでいる。以前には販売額が10億円に達した時期があったが、最近では3〜4億円で推移している。価格が低迷しているなかで、農協と町が一体となって支援しながら、経費を削減し収入増加をはかっていく必要がある」との説明がありました。

産業振興課長からは「政権が交代し、国の農政が大きく変わる」としている。国では平成22年度、新たに米に対する戸別所得補償モデル事業を実施し、また、これまでの産地確立交付金事業にかわり水田活用自給力向上事業を実施し、食料自給率の向上をはかり、農業の有する多面的機能の発揮に努めようとしている。本町では、一農場一産品運動を推進するなどして総合産業化に努めていきたい」との説明がありました。

意見交換では、「認定農業者等の担い手が生き残れる方策の推進や、特産品や農産加工物の取り組みを強化すべきではないか」「廃校になる学校施設を水耕栽培やキノコ栽培などで意欲のある若い方に、無料でお貸ししてもよいのではないか」などの意見が出されました。

## 山形県町村議会 議長会自治功労



議員在職11年以上

池上 博 議員

(11年8か月)

町民のみなさんのご指導とご鞭撻で栄を賜り、衷心より感謝します。

(年月数は平成21年12月末日現在)

## 平成22年度 所管事務調査計画

常任委員会	所 管	テ ー マ
総務厚生	総務企画課 町民税務課 出納室 健康福祉課 町立病院 教育委員会 ほかの常任委員会に属さない事務	①保健医療福祉行政 ②教育行政 ③その他所管事務
産業建設	産業振興課 建設水道課 農業委員会	①総合産業化の推進 ②水道事業の経営 ③その他所管事務
広報公聴	議会活動の広報、議会活動への町民からの意見聴取	①議会だより発行 ②ホームページ更新 ③町民からの意見聴取 ④その他所管事項



## 広報公聴常任委員会

◆西川町議会だより(72号)の編集

3月4日(編集会議)

3月25日(レイアウト)

4月2日(初校)

4月7日(二校)

4月12日(三校)

総務厚生、産業建設、広報公聴の各常任委員会では、左記のとおり平成22年度の所管事務調査計画を決定しました。

# 議会のうごき



建設が進む西川小学校

## 議会運営委員会

2月22日

第1回定例会（3月3日～11日）の運営について決定しました。

## 議会全員協議会

2月19日

◆西川小学校開校までに路線バスの運行方法を見直す

路線バス事業の見直し検討の中間報告が町からありました。

路線バスは、昭和52年（1977年）7月から運行していますが、運行開始から32年が経過し、性格が大きく変わりました。運行を始めたころは、小中学生や保育園児のほかに一般の乗客の方も多かったのが、現在では小中学生の通学バス、保育園児の通園バスの色彩が強くなり、一般の乗客の方も固定化しています。さらに財政面でも毎年、一般会計から約5000万円を支出しており、地方交付税で措置され

約1千万円が一般財源です。運行を継続していくために安定した財源を確保する必要があります。

このため町では、これまで見直しを検討してきました。その結果、一般の方も乗車できるスクールバスを朝夕運行し、町立病院通院の方を対象に決められた路線のどこでも下車できる路線バスを昼に運行するほか、高校生や月山などへの観光客の方を対象に路線バスを運行することで今後、関係機関等と協議し、平成24年4月の西川小学校開校までに見直ししていくとしています。また、中学生までの運賃無料化と町内均一料金（200円）は継続の方向です。

## ◆(株)米月山の経営改善計画

平成22年度早期に策定

白い発芽胚芽米月山まんまを製造販売している(株)米月山の経営改善について町から報告がありました。

平成19年3月に創業した(株)米月山は初年度、1088万円の純損失を計上し年々、約200万円の改善を行っていますが、赤字経営から脱出していません

況です。

このため取締役会や町では、弁護士や公認会計士等の専門家の方の意見も聴きながら経営改善について検討してきました。専門家の方からは、「将来性のある商品ではあるが、町内や仙台圏での販売方法、販路が不十分である。合わせて製造費用の削減に努める必要がある」との指摘がありました。今後、平成22年度早期に、製造費用の削減や販路の拡大をめざして経営改善計画を作っていくとしています。

## ◆ケアハイツ西川の介護老人保健施設の医師確保に全力

ケアハイツ西川の介護老人保健施設の常勤医師であった山ノ内南珍医師が、平成21年11月に亡くなったことに伴う運営の検討について町から報告がありました。

ケアハイツ西川の介護老人保健施設は、入院加療した方などが家庭に戻るために必要な生活訓練を行うために、平成4年4月の開業と同時に設置されました。現在は50床で、基準では1人の常勤医師を配置しなければ

ならないことになっていますが、山ノ内医師が亡くなってからは不在の状態が続いており、介護保険の介護報酬が平成22年1月から70%に減額（月約400万円の減額）されています。

このためケアハイツ西川と町では現在、医師の確保に全力を挙げており、合わせて医師を確保できない場合を想定して介護老人保健施設のあり方について検討しています。



ケアハイツ西川

3月9日

◆西川小学校に

シンボル木を設置

西川小学校の建設状況について町から報告がありました。平成21年8月から建物本体の工事が始まっており、現在は土間コンクリートを打設したところとす。

豊かな地域資源を利用したという児童の自覚や誇りの醸成などを目的にした町産木材の購入も2月下旬、40坪住宅換算で25棟分が納入されました。また、西川町製材協同組合と西村山地方森林組合から本道寺の口之宮湯殿山神社の推定樹齢350年のご神木が寄贈され、玄関ホールに設置するとしています。

◆平成24年度までに

上水道の高度浄水施設を整備

上水道の高度浄水施設の整備について町から説明がありました。

町では、クリプトスボリジウム等の病原性原虫対策や水源水量の減少による水不足を解消するために、水沢・小沼地内の浄水施設を整備しています。これまでに建設場所の調査、測量を行い用地を取得、現在は設計を行っています。完成予定が平成24年度で総事業費は約8億2800万円を見込んでいます。

また、町では、同施設完成後の平成25年度から水道事業会計で約800〜1千万円の赤字を予測しており、今後、対応を検討していくとしています。

◆町道路線の見直しを検討中

22路線、約23km

町道路線の見直しについて町から説明がありました。

町では現在、177路線、総延長189kmの町道を管理していますが、人口の減少や地域の変化、交通事情の変化等により22路線、約23kmの見直しを検討しています。平成21年9月に各地区の意見を聞き、今後、町道を廃止した場合の管理のあり方などの検討を行い、さらに各地区と協議していくとしています。

◆村山地域の広域観光圏を整備

村山地域の広域観光圏の指定の申請について町から説明がありました。

町では、村山地域の7市6町といっしょに2月4日、めでためでた♪花のやまがた観光圏推進協議会を設立し、2月18日、観光庁に広域観光圏の指定を申請しました。

協議会では、温泉と健康、精神文化、二十四節気の食をテーマに、広域的な観光事業を展開していくとしています。

佳作を受賞!



第15回山形県町村議会広報コンクールで「西川町議会だより」が佳作を受賞しました。

審査では、「文章は的確でレイアウトも美しく、議会の活動等を詳しく丁寧に伝えようという意図が感じられる。もう少しわかりやすい文章・用語にするとさらによいのでは」との講評をいただきました。

平成21年 議会のあしあと

議会開催状況

区分	会期日数				計	参考 本会議日委員会日数	傍聴者
	本会議日数	休会日の委員会日数	その他の休会日数				
定例会	3月	3	4	2	9	1	48
	6月	3	—	—	3	2	18
	9月	3	4	2	9	1	14
	12月	3	—	—	3	2	35
計	12	8	4	24	6	115	
臨時会	5	—	—	5	—	0	
計	17	8	4	29	6	115	

付議事項

区分	町長提出						議員提出					合計
	条例	予算	決算	その他事項	専決処分	計	条例	意見書	決議	規則その他	計	
定例会	11	40	13	10	1	75	2	7	—	19	28	103
臨時会	6	1	—	8	1	16	—	1	—	6	7	23
計	17	41	13	18	2	91	2	8	—	25	35	126

委員会開催状況

区分		開催延日数				計
		付託事件審査		所管事務調査		
		会期中	閉会中	会期中	閉会中	
常任委員会	総務厚生常任委員会	6	—	12	22	40
	産業建設常任委員会					
	広報公聴常任委員会					
	議会運営委員会	—	9	—	—	9
	特別委員会(予算、決算)	8	—	—	—	8

# 木の実細工、絵はがき

大井沢の自然を子どもたちに

松田 淳子さん (77歳)  
(大井沢第1町内会)



## 木の実細工

教育旅行の農業体験で、自然と匠の伝承館を訪れてくださる方といっしょに、松かさを利用してカブト虫やカマキリなどを作ったりしています。ブナの実やイチヨウなど木質が固く腐れにくい約25種類の木の実でいろいろなお工作をしています。

きっかけは大井沢へき地保育所(当時)に勤務していたころです。昭和38年から61年までの23年間勤めましたが、へき地保育所ということもあり、予算が極端に少なく、遊具も思うように購入できなくて。そこで考えたのが、子どもたちの心に大井沢の自然を留めさせようと、外で遊ばせることでした。いっしょに山野を散策するうちに、木の実遊びを始めました。

本格的に始めたのが、平成2年です。20年になりますが一つとして同じものを作ることができません。そこがまた魅力です。

大井沢をいつまでも忘れないでほしいとの願いを込めて、大井沢小中学校(当時)の卒業式に、木の実細工の胸花を届けさせていただきました。

## 絵はがき

3人の子に恵まれましたが、保育所に勤務しながら、主人と4反歩の稲作もやりましたので、「親らしいことができなかったかな」との思いから、植物や花山などの大井沢の原風景を息子や娘に遺(たづな)そうとスケッチブックに描いてきました。

幼いころから絵が好きで、山形師範学校(当時)在学中、先生から「線がきれいだ。油絵より水彩画が適している。鉛筆の線がわかるぐらいの線を活かした絵を描きなさい」と指導していただいたことがあります。

平成5年には「絵はがきにしたら」との話をいただき、作り始めました。

孫の一人が幼いころ、「大井沢のおばあちゃんが描くと犬に見えるが、おかあさんが描くと豚に見えるの」と言ってくれたことが、娘には申し訳ありませんが、忘れることができません。「東北芸術工科大学で絵を勉強したい」という孫もあり、楽しみにしています。

いまは絵はがきのほか、西山杉の間伐材の羽子板に絵を描き、飾り物として喜ばれています。

72号の表紙

17人が  
学び舎を築立つ



3月18日に行われた西山小学校の卒業式。

在校生は卒業生一人ひとりの思い出を、卒業生は6年間の思い出と感謝の気持ちを呼びかけました。

した。(写真)

西山小学校は明治7年の創立。校章は、出羽三山の三つの山と西山の山を型取り、小を図案化した中にシンボルの紅梅を表したもので、昭和29年に制定されました。

(今号から表紙と裏表紙をカラー印刷にしました。)

## 編集後記

この広報紙が届くころには、8年ぶりに行われた町長選挙の結果が出ています。それを率直に受け止め、しこりを残さずに本町議会は、公平公正に活動することが重要であり、町の発展をめざしていくことが大切です。さて、杉花粉の最盛期に入ります。町内では、多いときに1年間で50万本の杉が植えられました。森林組合に勤めた一人として、花粉症で苦しんでいる方には責任を感じています。桜が咲けば花粉も収まります。それまでの辛抱です。

みなさんで満開の桜を見ながら、町の行く末をぜひ考えていただき、本町議会に対する支援をお願いします。

(松田 昌一)

### 《発行・編集責任者》

議長 黒坂 久一

### 《編集委員》

委員長 宮林 昌弘

副委員長 古澤 俊一

委員 青山 知教

松田 昌一

### 議会へのおさそい

みなさん傍聴してみませんか

次回定例会は  
6月です